

勝浦若潮高校の 統廃合について

昨年十一月に、県教育委員会から勝浦若潮高校の統廃合案が発表されました。

まだ正式に決定したわけではありませんが、このままでは勝浦若潮高校がなくなってしまう可能性があります。

市制施行の条件でもあった高校の存在は、地域の文化や経済を支える非常に重要な意味があり、また、存続の有無によってはJRの列車の運行にも大きな影響が出てくることも考えられます。

現在、勝浦市内では統合反対の署名活動も行われ、十二月十五日の段階で一万二千筆が集まっております。また私も行く先々で統合についての質問や相談を受け、皆様の興味と関心の深さがうかがえます。

県は前年に協議を行ったと言っていますが、その中で「まず二校案ありきではなく、現状維持（四校）から三校へと段階を踏んで行くべきではないか」という声も挙がっていました。

しかし、それら事実は全くと言っていいほど周知されておらず、新聞報道で初めて知ったという方が圧倒的に多く、戸惑いや怒りが目立ちます。

勝浦若潮高校は一九〇一年に「勝浦水産補習学校」として設立されて以来、一一〇年にも及ぶ歴史と伝統を持つ学校です。漁業・水産と地域産業の振興と発展に深い関わりのある、全国でも有数の特色ある学校でした。

二〇〇五年の御宿高校との統合の際、魅力と特色ある学校を作るとして県内でも数少ない総合学科を設置しましたが、合併当初より定員割れが続き、現在に至っています。

水産ちばを謳う我が県で、すでに三校しかない水産・海洋科学系列学校の一つをなくしてしまうことは、地域力の低下・産業の担い手の減少にも繋がるのではないのでしょうか？

統合にあたって、校舎は大原高校を使用するとありますが、大原高校の敷地は狭く、統合し生徒が増えるとなれば、校舎が不足するために新たに用地を取得し、校舎も増築をしなければならぬ状況にあります。しかし、県は厳しい財政状況にあります。

郡部における生徒数の減少はかねてから言われていますが、一クラスの人数を都市部と同じ人数に揃える必要はあるのでしょうか？

地域の実情に沿って、少人数を活かしきめ細かな教育ができる、郡部ならではの教育を行うこともまた一つの選択肢であると言えるのではないのでしょうか？

まだまだ検討の余地はあります。いかにして地元高校を存続させるのか、存続のために何をしていくべきなのか。

猿田市長はじめ、地元の皆様としっかり連携をとりたいながら、この問題に取り組んでまいります。



千葉県立勝浦若潮高等学校



行動録

二〇一二年 十月十九日～十二月二十日

12月13日に県議会伊藤議長に【千葉県立若潮高等学校（総合学科）の存続を求める請願書】が提出されました。2月議会にて審査されます。

- 地元産業を支える人材を育成するために設置された本校は、水産業の担い手を輩出し地場産業の振興に大きく貢献しており、廃止は外房地域の水産業振興にとっても大きな損失となること。
- 現在は市内全地区をあげて存続を求める署名運動を展開中で、すでに1,500名余の署名が集まっていること。
- 通学や保護者負担の増大はもとより、地域経済や産業へ大きな影響が及ぶことも必至であり、統合計画を見直し、勝浦若潮高校と海洋科学系列の存続を求める。

趣旨は概ね上記の通りで、請願者は勝浦・興津・上野・総野地区区長会の会長で、私が紹介議員となっております。

◆10月◆

19日 観光立県推進議員連盟 県内視察
24日 参議院議員 石井準一「向かうべき場所を語る集会」
25日 国道297号線促進会議
29日 県議会リポート折り込み
31日 首都圏中央連絡自動車道建設促進会議総会

◆11月◆

1日 ゲートボール夷隅ブロック選手権大会
3日 シルバーガーデン理事参議院議員 猪口邦子を励ます会
3日 勝浦若潮高校文化祭
5日 「いっしん」2号折り込み
5日 いんべやあフェスタ
9日～11日 県土整備常任委員会 県外視察
12日～13日 B-1グランプリin姫路 鳴海ロードレース完走 議員総会
16日 日独交流百五十年記念事業菩提樹植樹

◆12月◆

4日 養老溪谷晩秋の集い
5日 県議会
6日 介護問題対策議員連盟 総会
6日 ライオンズクラブ例会 東房総人会議 平成会
8日 県立若潮高校の存続を求める請願書の提出
13日 県議会閉会
20日 ※赤文字の行動は本誌記事等で紹介しています。



謹んで年始のご挨拶を申し上げます

勝浦市長

猿田 寿男



昨年、市政にお寄せいただきましたご支援に対し厚く御礼申し上げますとともに、新春を迎え、皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げます。

また、東日本大震災、そして原発事故に対しまして国を挙げての取り組みが進められておりますが、一日も早い復旧・復興、収束となりますよう心からお祈り申し上げます。

さて、多くの皆様からの力強いご支援とご支持を賜り、昨夏より市政を担わせていただくことになり 早半年近く経ちました。この間、産廃最終処分場建設反対活動にはじまり、新設の「市民会議」、「市長への手紙」などを通じまして、皆様の貴重な御声を十分にお聴きしながら「市民文化会館」建設事業をはじめ、魅力あふれる勝浦市の実現に向け邁進しているところであります。そういう中であって、昨秋に勝浦若潮高校の統合問題が持ち上がりました。高校は地域の教育拠点であり、シンボルでもあります。子どもたちのために地域を挙げて統合計画の見直しを強く求めてまいりますので、更なるご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。



謹賀新年

衆議院議員

森 英介



明けましておめでとうございます。皆様には、旧年中、大変お世話になりました。心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、円高・デフレが一層顕著になり、加えて、3月には千年に一度と言われる大災害に見舞われ、我が国にとってはまさに苦難の年でありました。この国難とも言ふべき事態を克服し、世界の雄たる日本を再建することこそが私どもに課せられた使命と心得ています。しかし、現状を見るに、円高・デフレについてはおよそ無為にうち過ぎ、被災地の復旧・復興は遅々として捗らず、国政の場に身を置く者として、忸怩たる思いです。こうした国の状況が勝浦・夷隅地域にも影を落とし、沈滞を助長しています。今年は何としても政権奪還を果し、私ども自由民主党が責任を持って日本の将来を切り開く役割を担いたい、年頭に当たりそう切望する次第です。

地域の課題については、小高伸太県議と心をつなげて、役割分担して、全力で市政、町政のサポートをしてまいります。高規格道路の整備、農業・漁業インフラの拡充、地場産業や観光の振興、社会福祉や医療の充実、教育環境の向上などに努めます。何とぞご指導、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



謹んで新春のご祝詞を申し上げます

勝浦市議会議長

丸 昭



昨年は未曾有の大災害の年と成り、東日本大震災をはじめ友好都市であります那智勝浦町の日も早い復興を衷心より願うばかりです。

年も明け今年は辰年となり、辰は草木が成長して形が整った状態を意味するとの事から安定した一年にしたいものですが、国に於いては TPP 協議に参加の意向を示しました。既に勝浦市議会では TPP 参加加盟に反対する意見書を国に対して提出しており、勝浦市の基幹産業である農業、水産業への影響を考えると今後も一層の注視をしていく必要が有ると考えます。

また昨年秋、突如として勝浦若潮高校の統合問題が浮上し市民の皆様は大変驚いた事と思いますが、若潮高校や生徒達が地域活性化の一助と成っている事は紛れもない事実で有り、無くす訳には参りません。昨年末より市議会の総力を挙げ県に対し統合撤回を要望しているところです。年頭から暗い話題ばかりとなりましたが皆様の生活が干支のとりの1年と成ります様、新たな気持ちで市政に取り組んで参りたいと思います。

結びに、皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げます年頭の御挨拶とさせていただきます。



謹んで新春のご挨拶を申し上げます

千葉県議会議員

小高 伸太



昨年は本当に大変な年でした。三月十一日の東日本大震災、それに端を発する放射能汚染や観光・農水産物の風評被害。那智勝浦町をはじめとする紀勢地域では台風による甚大な被害も発生いたしました。

また新聞発表で勝浦若潮高校の統廃合案が県教育委員会から発表され、地元では戸惑いながらも、存続を求める声が上がっています。猿田市長はじめ関係者の皆様と連携し、統合計画の見直しを求めていきたいと思ひます。

そんな中、明るい話題もありました。

勝浦市鵜原地先の産廃処分場建設について、反対活動の成果が実り、業者には「みなし取り下げ」と判断が下され、建設案は白紙に戻る形となりました。

また「勝浦タンタンメン船団」がB-1グランプリにおいて、関東大会で二位、全国大会で七位入賞する等、千葉県勢として初出展でありながら好成績をおさめました。この快挙に心からお慶び申し上げますとともに、今後ますますのご発展を期待いたします。

新たな年を迎え、私たちにできることは何なのか、何をしていくべきなのか考えながら、一歩ずつ確実に歩んでいきたいと思ひます。



新年あけまして おめでとうございます

御宿町長

石田 義 廣



皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて昨年は未曾有の東日本大震災により全国に影響被害が広まり日本経済に大きな打撃を与えました。国はこの国難に対し、災害からの復旧・復興を最優先課題として日本再生の戦略を近々まとめるとしています。今後、地方財政への影響も余儀なくされますが、町づくりの方針をしっかりと定め、将来を見据え夢のあるまちづくりを推進したいと思います。

地方分権一括法が2000年に施行され地方分権のもとでの新しい国づくりがはじまり、そのきざしが全国に見え始めています。地域にあって各自治体は、自らの富の創造はもとより共通課題について連携するの一つの方法と思います。少子化の中の人口減少、過疎化の進行、これらに伴う定住化政策の推進など課題が多くあります。ここで3・11大震災を受けまして2市2町の防災協定について今後提案いたします。喫緊の課題として地域の活力を削ぐ勝浦若潮高校を含む学校統合の問題について存続を求めてまいります。新年を迎え夷隅郡市の発展と皆様のご多幸をお祈り致します。



謹んで新春の お慶びを申し上げます

大多喜町長

飯島 勝 美



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

まず、昨年3月11日に発生した東日本大震災において、被災された皆様にお見舞い申し上げますと共に一日も早い復旧、復興を願っております。

大多喜町では念願でありました役場新庁舎が昨年完成し、旧庁舎についても、耐震補強工事を施し保健センター機能を有した中庁舎として残すよう整備しております。皆様には何かとご不便をおかけしておりますことをお詫び申し上げます。

自治体を取り巻く状況は、依然として厳しく、一層の行政改革の推進と効率的な財政運営に努め、地域の資源と特性を活かした町づくり、自立の町づくり、町民が生き生きと生活できる環境づくりを進めて参る所存でございます。町民の皆様には一層のご理解、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

結びに皆様の一層のご活躍とご健勝を心よりご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



議会議員の 連携について

御宿町議会副議長

白鳥 時 忠



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、旧年中は、御宿町行政に多大なるご尽力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

さて現在の地域の経済状況は大変疲弊し、閉塞感漂う状況であると認識しております。

様々な諸問題が各市町に山積しておりますが事案によっては個々に対応しても解決に至らない状況であると思います。今こそ広域での自治体連携という視点で協力していくべきだと考えております。

私からの提案は夷隅郡市議会議員勉強会・懇談会の開催。現在、御宿町議会と大多喜町議会では夷隅郡議長会主催による勉強会を開催しておりますが、勝浦市、いすみ市の議員の皆様との勉強会は実施されていないのが現状です。個人的に接点を持つだけでなく、広域連携という視点にたち、地域の問題について意見交換するべきと考えていますし、議員としての力が問われていると思います。実現に向けて行動していきたいと思います。

結びに本年が、地域の皆様にとりまして、素晴らしい年となります事を心よりご祈念し、年頭に当たりましての挨拶といたします。



謹んで新年の ご挨拶を申し上げます

大多喜町議会議員

正木 武



昨年は、東日本巨大地震や、福島原発の事故、さらには全国各地で発生した豪雨や地震により、多くの方々が被災され、衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災された地域の復興と、関係者の皆様の日も早い健やかな生活を心からご祈念申し上げます。

さて、国内外で続く経済不況や雇用の悪化は、地方の自治体としてもその行方を注視しながら町づくりを進めなければならない状況です。

町議会では、国からの交付金等が削減される状況下、さらに議会の活性化を進めるとともに、「住民と町議会の懇談会」など、様々な機会を通じて町民の意見を伺い、限られた財源を有効に活かし町づくりに繋げてまいります。

人口減少、少子高齢社会を迎えている本町では、様々な課題が山積しておりますが、夷隅地域や町の魅力、資源を活かし、地域の発展と福祉の向上を目指して、町民の皆様と力を合わせ、今年も全力で取り組んでまいります。

地域情報

勝浦 祝 勝浦タンタンメン船団 B-1 グランプリ全国大会7位入賞

11月12～13日に兵庫県姫路市にて、B-1 全国大会が開催されました。
食を使った町おこしがテーマのB-1 グランプリ。会場には2日間で50万人を超す来場者があり、その様子は新聞や雑誌、そしてテレビ等様々なメディアで取り上げられました。
当日は勝浦市長も来場し、勝タンを食べて自ら投票もされました。
小高事務所からもスタッフが参加し、ブログで当日の様子を写真や動画をまじえて紹介していますので、ごらんください。

【B-1レポートブログ（短縮URL） 前編 <http://bit.ly/s6jpC8> 後編 <http://bit.ly/uEDfdo>】

勝浦市内には勝浦タンタンメンを販売している飲食店が40店近く、また市外にも何店かあり、それぞれが特徴のある勝タンを提供しています。

タンタンメン船団監修の「食べつくしマップ」は小高事務所でも配布していますので、ご希望の方はお声かけください。

町おこしには、地域住民積極的な参加も必要になります。
勝浦市ではこれからビッグひな祭り等のイベントも控えています。
ともに元気な街になるよう、盛り上げていきたいと思ひます。

【問合せ先：勝浦市商工会 0470-73-0199】



ご自身が食べるのに使ったお箸を勝タンBOXに投票する猿田市長



大勢のスタッフが協力して2日間で8,000杯を提供しました！



「熱血!! 勝浦タンタンメン船団」は7位に入賞し、ステージで表彰されました

御宿 おんじゅく海の花祭り



今年も2月19日(日)に「おんじゅく海の花祭り」イベントが開催されます。

時間は10:00～15:00 会場は月の沙漠記念館前広場です。

地元で摘みだてのスプレーストックや菜の花の配布の他、足湯や青空市をはじめとする様々なイベントが予定されています。
そして御宿のマスコット「エビアミーゴ」も登場します!!

なお、エビアミーゴグッズは月の沙漠記念館で販売中です。

また、2月1日(水)～3月31日(土)まで「春のおんじゅく伊勢えび祭り」も開催。

町内の協賛店で伊勢えびグルメが楽しめます。

【問合せ先：御宿町観光協会 0470-68-2414】



大多喜 菜の花満開 いすみ鉄道

ムーミン列車でお馴染みのいすみ鉄道は、これから花の中を走る時期になります。

地元のボランティアの方々が種まきや草刈等の手入れを行っている菜の花は、例年2月中旬から4月中旬頃まで見頃を迎え、また桜は3月下旬～4月上旬頃が見頃となっています（※気象状況により開花時期は前後します）。

菜の花は全線26.8kmのうち約15kmで開花することとで、ほぼ全線にわたり花の風景を見ることができるようです。

カメラ片手におでかけしてみませんか？

【問合せ先：いすみ鉄道株式会社 0470-82-2161】



★ブログ公開しています★

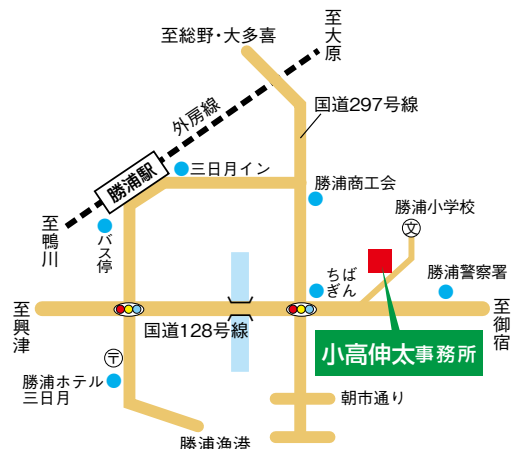
千葉県議会議員小高伸太オフィシャルブログ
いっしん
<http://blog.odakanobumoto.com/>



◎携帯電話からも閲覧いただけます。
(ホームページも作成準備中です)



◎ご意見等ございましたらお気軽にお問い合わせください。



おだかのぶもと
小高伸太 事務所
〒299-5225 勝浦市墨名732
電話 0470(73)7230
Email: info@odakanobumoto.com

RECESS 『ひな祭りとは…』

上巳(じょうしじょうみ)と呼ばれる五節句の一つで、「お内裏さま」と呼ばれる男雛や「お雛さま」と呼ばれる女雛を中心とする人形を飾り、桃の花を飾って祝う節句祭りです。旧暦の3月3日は桃の花が咲く季節なので、桃の節句とも呼ばれるようになりました。

平安時代には紙で作った人形を川に流す「流し雛」がありましたが、江戸時代頃から庶民の間にも広がり、飾り人形の他、災厄からの守り雛として祀られるようになったと言われています。

またこの日は女児が淑やかでゆかしい女性に育つよう願いを込めて、ちらし寿司や蛤のお吸い物を食べたりする習慣があります。

勝浦市では24年2月24日(金)～3月4日(日)まで『2012 かつらビッグひな祭り』イベントが開催されます。

浜勝浦の遠見岬(とみさき)神社の60段をひな壇に見立て、1,200体の人形からなる60段飾りは夕暮れ時にはライトアップされます。

今年もメイン会場は旧行川小学校となり、その他にも市内各所に25,000体以上のひな人形が飾られます。

また、期間中は、子どもたちが雛児の衣装で統一したひな行列、歩行者天国、各種出店などのイベントもあります。

御宿町では「第6回おんじゅくまちかど『つるし雛めぐり』」が2月17日(金)～3月4日(日)まで開催され、期間中は町内の商店、協賛店などに御宿町商工会女性部等が制作したつるし雛が飾られます。

メイン会場となるおんじゅく屋では、つるし雛作成体験コーナーや、つるし雛・あわび雛の販売、つるし雛制作キットの販売も行われます。

